

会 議 録

会議の名称	令和6年 第8回 白岡市教育委員会定例会		
開催日	令和6年6月27日（木）		
開催時間	午前9時30分 開会 ・ 午前11時58分 閉会		
開催場所	白岡市役所 4階 特別会議室1、2		
教育長の氏名	横 松 伸 二		
出席者（委員等）の氏名	横 松 伸 二 山 崎 美佐江 和 田 玲 子	小野目 如 快 福 永 肇	
欠席者（委員）の氏名			
説明員の職・氏名	教育部長 教育総務課長 参事兼教育指導課長 生涯学習課長	長 谷 川 亘 高 垣 秀 樹 蓮 見 宣 宏 小 船 伊 純	
事務局職員の職・氏名	教育総務課主幹	神 田 晶 子	
点検評価員	吉 野 高 男	板 垣 時 夫	
会議次第	1 開会 2 日程第1 会議録署名委員の指名 3 日程第2 委任事務等報告事項 第1 区域外就学について 第2 就学すべき学校の指定の変更について 第3 令和6年度白岡市学校給食委員会委員の委嘱について 第4 白岡市いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について 第5 白岡市小・中学校児童・生徒体力向上推進委員会委員の委嘱について 第6 白岡市社会教育委員の委嘱について 第7 白岡市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について 第8 6月議会定例会の一般質問について 第9 専決処分の報告について（人事案件） 4 日程第3 その他の事項 5月の教育委員会諸事業結果報告について 5 閉会		

配布資料	別添のとおり
傍聴者数	4人

1 開 会

横松教育長 出席委員5名、定足数に達しており開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

横松教育長 市教育委員会会議規則第15条の規定により、山崎委員及び小野目委員を指名した。

3 委任事務等報告事項（教育長報告）

横松教育長 委任事務等報告事項のうち、報告事項1、2及び報告第9は個人情報を含むため、非公開で行いたいが如何か。

委 員 （異議なし）

横松教育長 異議なしと認め、報告事項1、2及び第9を非公開とし、審議の順番を変更して日程第2委任事務等報告事項の第3令和6年度白岡市学校給食委員会委員の委嘱についてからとする。

第3 令和6年度白岡市学校給食委員会委員の委嘱について

【説 明】 （報告第3について、教育部長が概要を説明し、教育総務課長が資料に基づき説明した。）

【質疑応答概要】

A委員 今後、全体で行う委員会があるか、予定を教えてください。

教育総務課長 今年度については書面による会議を予定しており、対面の会議は予定していない。

A委員 学校給食に関する方針、予算、調理士の人員配置などの計画全体を統括するのは、教育委員会か、この給食委員会か。

教育総務課長 当給食委員会が調査・審議するのは、学校給食に係る予算、決算、事業計画に関する内容についてである。このほか、物資の確保、納入業者の指名等に関すること、給食費等の決定・徴収に関することについて決定をしている。

なお、給食調理員の配置については、教育総務課が給

食調理を業者に委託しているため、調理員の配置はその業務委託の中で行っている。

A 委員

給食委員会が現場のことを決めていると理解したが、それを決める会議が年 1 回の書面会議で大丈夫か。

教育総務課長

昨年度は給食費の改訂があったので、対面、書面での会議を行ったが、今年度の内容では書面開催を考えている。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

第 4 白岡市いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について

【説明】 (報告第 4 について、教育部長が概要を説明し、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

B 委員

発足して 5、6 年は経過し、実際いじめ案件もあった。

不足点を改善しながら進めてきたと思うが、この委員会の果たした役割、改善してこうなったという経緯などがあれば教えていただきたい。

参事兼教育指導課長

また、学識経験者の石井先生の専門分野を伺いたい。
これまでの経緯だが、当市でいじめ等の問題があった時、委員からご意見をいただき対応してきたところである。

学校でいじめを早期発見、早期対応、早期解決するために教育委員会と協力して進めているところであり、定例の会議で市の課題等を説明し、ご意見をいただいているところである。

石井委員は県教育委員会等に勤務され教育に造詣が深いこと、また、現在他市町でいじめ防止対策推進委員教育委員を歴任されていることを勘案して依頼した。

横松教育長

補足する。いじめ防止対策推進委員会では、学校で行っているいじめ防止対策の啓発や学校で考えていることを報告し、その方向でしっかりやってほしいという意見をいただいているので、この会の委員から言われて変わったことは特にはないが、以前、いじめの重大事態が起きた時、この委員会から専門部会を立ち上げ、適切に対応いただいた。専門部会で出た方向性等をこの委員会で審議し対応してきたため、しっかりと機能していると思っ

ている。

石井氏については、人権教育や障害児教育が専門であり、加須市を中心に校長などを歴任され、その後県教育委員会に勤務され、義務教育や行政の教育課程に造詣が深く、適任と考え依頼した。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

第5 白岡市小・中学校児童・生徒体力向上推進委員会委員の委嘱について

【説明】 (報告第5について、教育部長が概要を説明し、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A 委員

統計的な数字を再確認したい。小学校男子で48項目中、埼玉県平均より11項目が上回っており、3項目が下回っている。その他の項目は平均なのか。

参事兼教育指導課長

その他の項目については、埼玉県の平均値と一致するわけではないが、総計的に優位差がないということである。

A 委員

6月6日の総合教育会議の安原教授の講義で、グラフで、過去と比較し体力が脆弱化していると言われたので、白岡市の子供の体力が脆弱化しているのではと気になっている。小・中学校児童・生徒体力向上推進委員会委員には頑張っていたきたいと思う。

白岡市では、体力の脆弱化についてどのように考えているか。

参事兼教育指導課長

コロナの関係もあり、白岡市の子供の体力が、全体的に低下していると感じている。

ボール投げはコロナ以前から課題となっている。体力向上推進委員会では、授業の最初に簡単に取り組める共通メニューを考え、学校で実践したり、学校によっては投力を鍛えるための用具を作成したり活用したりして、ボール投げ教室のようなものを休み時間に取り組んでいるところもある。

まずは5、6月の新体力テストの期間に実施し、この結果をまとめ、体力向上推進委員会で課題として挙げたことを委員が各学校に持ち帰り、10、11月頃に重点的に取り組むものである。

- C 委員 体力テストの結果を受け、体力向上推進委員会で提案が出てくるものなのか。
- 参事兼教育指導課長 申し上げた内容は、体育主任等が集まっているため、各学校で取り組んで効果的だったことなどを話し合い、持ち帰っている。その中で、ここを市として重点的に取り組んでいこうと焦点化した話し合いが行われていると思う。
- C 委員 体力向上推進委員の肩書があるので、こういうことをして子供の体力を向上させるよう、具体的な指示をするのか。
- 参事兼教育指導課長 この委員会からの通知が出るというよりは、参加した体育主任が持ち帰り、体育の授業を充実させ、取り組んで内容を広めていくものとなる。
- B 委員 話を聞いていて、各自研鑽の場でやっていることを発露する、体育に特化した横断的な部会だと思った。理科や算数などの教科部会はあると思うが、教科以外の校長、教頭、養護教員等のいる部会について、他の教科でも横断的にやっている部会があれば教えていただきたい。
- 参事兼教育指導課長 国語、書写、算数などの教科については、白岡市教育研究科会というのがあり、学校の教職員が会員となっている。年1回の研究授業と研究協議を行っている。
- 体力向上推進委員会では体育主任が集まるので、体育部会と同じようなメンバーが集まるが、子供の体力強化に絞り、体力テストの結果などを使い、課題を共有し体力向上の取り組みを図るものである。
- 体育部会だと、体力向上と無関係ではないが、どちらかというとならば授業研究となる。
- 市で教科の推進強化を行っているものはない。
- B 委員 体育は体力テストがあり、結果が出るので、県と比較しやすい。
- 国語、算数は授業の研究ということだが、学力テストを行っているので、白岡市で弱いこの部分を全体で上げていくという時、横断的にやるとしたら、市の教育研究会が筆頭にあると考えてよいのか。
- 参事兼教育指導課長 教育研究会は教育委員会とは別の組織となる。国や県から学力テストの結果が届いたら、白岡市としての課題

はまず、教頭会、校長会で周知をし、各学校で取り組む課題を考えていただく。

教育課程推進委員会というものもあり、各学校の学力向上の取組は共有して進めている。

学力テストの結果のみを話し合う委員会はない。

横松教育長

補足する。体育だけでなく他の教科も教科研究としてそれぞれ学校内や横の連携を取って行っている。

体育の強化は、この１段階上として、教科以外でマラソン大会をどうするかとか、朝走らせるなどの取組を行っている。

体育やスポーツは、県でもすべての子供たちの今後の生活力を上げることは重要であるとして、１段階上げ、全体的に取り組むものとし、これだけ特化した、体力向上推進委員会がある。

A 委員

白岡市の子供の体力が落ちているのはまずいと思った。白岡市では５、６月に実施している新体力テストの結果を校長会や教頭会でしか公表していないと思うが、過去の結果について時系列で、見える化していただければ、教育委員会でも別の議論ができると思うので、結果を教育委員にも公表いただければと思う。

参事兼教育指導課長

検討する。

D 委員

体力の低下の話については、ライフスタイルの変化も大きく影響していると思う。朝マラソンも良いと思う。

データについては、細かく見て平均かどうかでなく、全体的なところでの評価でよいのではないかなと思う。

何をするにもスタミナがないと、続かないことがたくさんあると思うので、子供が基礎体力をつけるという観点から体力向上を考えていくのはいかがか。

参事兼教育指導課長

まさにそのとおりで、全体として体力を高めるのは重要である。学校教育でできるのは、体育の授業を充実させることであり、業前活動や業間活動など、各学校で取り組んでいる課題があるので、それを捉えながら総合的に体力を高めるのが重要である。

ただ、ボール投げなどは、テクニックも必要なので、投げ方の基本等も指導していく必要があるので、市では様々な取り組みをしながら全体の体力の向上を図ってい

きたいと考える。

A 委員

昨年、白岡中学校の見学した時に、体育館に新体力テストの結果が出ていたのが印象的であった。そのように、結果を公表した方が生徒のやる気も出て良いのではないかと思う。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

第 6 白岡市社会教育委員の委嘱について

【説明】 (報告第 6 について、教育部長が概要を説明し、生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承認】 (全員異議なく承認)

第 7 白岡市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について

【説明】 (報告第 7 について、教育部長が概要を説明し、生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

C 委員

委嘱期間が半端な理由を教えてください。

また、具体的にはどのような計画を策定するのかを教えてください。

生涯学習課長

委員の任期が今年度末までなのは、計画を策定した後も、進捗管理や随時見直しが必要な計画であるので、令和 7 年 3 月 31 日で一旦区切った。来年度以降も引き続き、新しい委員にお願いすることになると思うがこの委員会自体は継続する。今年度できるところまで、今年度中の策定を目指して、お願いするものである。

主な計画の内容については、スポーツ活動の推進にすること、学校における体育・スポーツ活動の充実、スポーツ環境の整備、スポーツを通じた地域づくりを基本方針として定めていくことを想定している。

C 委員

生徒だけでなく市民全体を対象にしていると思うが、予算のことについて、委員はどう考えているのか。

生涯学習課長

この計画に基づき事業を実施することになるので、計画上、進めなければいけない事業は優先的に予算要求していきたいと考えている。

C 委員

スポーツセンターを作るという案が上がると予算が多

額になる。そのような意見が出たとき、折り合いをつけながらやっていただけると理解した。

【承認】（質疑応答後、全員異議なく承認）

第8 6月議会定例会の一般質問について

【説明】（報告第8について、教育部長が一般質問と、それに対する答弁の内容を説明した。）

【質疑応答概要】

A委員

防災訓練に関し、私は地震を経験してきた。白岡市では災害に対する意識があまりないと思うので、防災教育にもっと力を入れたら良いのではないかという感想を持った。

教育支援センターについて伺いたい。建物やスタッフ、どういう組織か教えていただきたい。

参事兼教育指導課長

以前は別の場所にあったが、消防署の篠津分署のあったところに移転した。部屋を設け、不登校など悩みを抱える子どもたちが通っている。スタッフに所長1名、学習支援員、相談員を配置した組織となっている。

A委員

教育委員が関わる組織なのか。

参事兼教育指導課長

そうである。不登校の子の親御さんが相談し、試しに通い、通えそうであれば教育支援センターに通う手続きをする。子供がそこに来るのを基本としている。学校の教員が家庭訪問することもあるが、教育支援センターには原則は子供が通ってくる。

A委員

自習をしているようであるが、職員は教えたりはしないのか。

参事兼教育指導課長

基本的には課題を自分で持ってくる。学校のドリルを持ってくる子もいる。学習支援員の配置があるので教わったりもしている。教員免許を持っている人を配置しているため、わからない場合は支援員に聞くことができる。

A委員

ホームページには高学年とあるが何年生のことか。

参事兼教育指導課長

低・高であれば4年生から、低・中・高とあれば5年生から高学年である。

低学年から通えるのが本来なので、表記を改めていく。

A委員

合計54名が教育支援センターに通い自習をし、在籍学校に戻らず卒業していると考えてよいか。

参事兼教育指導課長

不登校の子供の抱える背景はそれぞれであるので、不登校の子供たち全員が通えるとは限らない。通える子は教育支援センターで勉強や活動ができています。転校ではないのでそれぞれの学校に籍があった上で教育支援センターに通っている。

通うこと自体が外部とつながりを持つということに意味があるので、相談を進め、社会的自立につながる施設にしていきたいと考えています。

A 委員

教育支援センターに通えない子もいるとわかった。市内の児童生徒が4000人としたら不登校と認定された子供が60名いるので多いと感じた。今後も増えそうなので、教育委員会として知っておくべき大きな課題であると思った。

高校進学率が99%なので、不登校の子も高校に進学している。コミュニケーションが難しい等、ケアが必要なのではないかと感じた。不登校については、大きな課題であると感じた。

(休憩後、11時30分再開)

A 委員

人口を増やすため、白岡市で働く人が白岡市に住んでくれば人口が増えると思う。外国人もそうである。

就学義務のない外国人が就学希望した場合、市は対応するのか。

参事兼教育指導課長

学齢期になったら対象の家庭に通知し、連絡を取る。希望のある場合は提出するよう案内し、就学できるようにしている。

D 委員

ブックスタートについて、日本に住んだ外国人は子供を通じて日本語を学びたいと思うと考えるが、特別扱いしないで人間同士のつながり、共生社会の実現として考えたらよいと思う。子供の使う本は日本語が優しいので、子供の本を使うことで交流できるのではないかという気がした。子供がまず友達になり、簡単な言葉をお互い教え合い、絵で伝えあったとも聞いているので、気軽に参加できると思った。

B 委員

ブックスタートについて、私も同意見である。0歳児で言葉が分からなくても、読み聞かせをすると子供が喜んで笑うし、良い親子関係ができ、良いきっかけとなる。

育児全体のスタートとして家庭に本を取り入れていくと家庭生活が豊かになるという意味合いが強いと聞いている。町ぐるみんの取材でもブックスタートの取材でそのように聞いている。

同じように、本を使うことで良い親子関係が醸成されるというきっかけを与える良い企画なので、多言語対応でなく日本語でやっていただきたいと思う。

C 委員

スマホの所持の調査について、市独自の調査はないが全国の調査ではある。タブレット端末の配付する時でも良いと思うが、1日にスマホを見る時間が問題となっているので、白岡市の小・中学生がどのくらい自分専用のスマホや携帯を所持しているかを市独自で調査しておいても良いと思う。

A 委員

小学校の、教科担任制、チーム担任制とは、1人の教員が小学生に全科目を教えることが暗黙の前提となっているのか。

参事兼教育指導課長

これまでは小学校の担任が1人で教えてきた。教科担任制とは、中学校のように特定の教科を教科担任以外が指導することであり、色々な視点から進められている。専門性の高い教員が教えるという教育の効果が高まる側面があるし、高学年の担任だと業務が重くなりすぎる傾向があるので、教科担任制にすることで授業のない空き時間を確保する側面もある。それで導入された。

音楽や家庭科ではこれまでも担任以外が教えていたが、だいぶ導入が進み、外国語は専科の教員が配置され、理科でも進んでいる学校もある。

チーム担任制は、中学校で言えば、これまでの担任、副担任、学年主任の学年団でチームを作り、担任を廃し、どの先生に相談しても良いとしている取組で、議員がお調べになり話をされたものである。小学校であれば、3クラスを3人の先生が担任クラスを固定せずに見るとか、クラスが少ない場合、5、6年を数名の先生で見るという取組である。

A 委員

学校で、教科担任制やチーム担任制にしたいとき、教育委員会が認めればよいのか。

参事兼教育指導課長

教科担任制を進めるには、教員の数が重要で、埼玉県

からの専科指導の加配教員がつけばできる。小学校で社会と理科を交換するのは学校長の采配で行える。相談は来ても、教育委員会が許可するのではなく学校長の判断である。

D 委員

以前、手話教室に行ったことがあるが、指導者が、杖をついているとか、車椅子であればみんなが気付けるが、聴覚障害者は、見た目は同じなので、耳が聞こえないことをみんなに理解してもらおうが難しいと言っていた。

共生社会にもつながるが、福祉教育は相手を理解することが大事で、相手を理解することで気づき、行動も変わると思うので、体験させることが子供にとって大事なのではないかと思う。道徳で文章では出ているが、人権ふれあいコンサートで手話の人が立っているのも、その思いを伝えるのも良いのではないかと思った。

A 委員

福祉課が第4期基本計画を策定したが、内容は教育委員会に関わることも多く、教育委員会との強い連携が必要と投げかけられているが、どのように対応したらよいか。

参事兼教育指導課長

福祉計画なので主管課は福祉課だが、内容はどちらにも関わるので、教育にも関わる部分については相談しながら諮り進めていく。

【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

4 その他の事項

その他 5月の教育委員会諸事業結果報告について

【説明】 (生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承認】 (全員異議なく承認)

(傍聴人退席)

3 委任事務等報告事項(教育長報告)

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

【説明】 (報告第1及び2について、関連があるためまとめて教育部長が概要を説明し、参事兼教育指導課長が資料に基づき説

明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承認】 (全員異議なく承認)

第9 専決処分の報告について (人事案件)

【説明】 (報告第9号について、教育部長が概要説明を行い、教育総務課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承認】 (全員異議なく承認)

5 閉 会

横松教育長 以上をもって閉会を宣言する。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

議 事 録 署 名 委 員

議 事 録 署 名 委 員